

2024年3月22日(金)

老球の細道784号

徒然なるままにお彼岸に想う

会津バスケットボール協会 室井 富仁

想えば、去年の今頃は野球の世界ベースボールクラシックで日本中が大谷選手をはじめとする日本代表チームの活躍で大騒ぎをしていた。同じ頃、会津地区ではバスケットボールフェスティバルが開催され、大谷選手の母校花巻東高校女子が招待チームで参加していた。ところが、花巻東の選手たちは自分たちのゲームがない時は、バスケットボールのゲームを観戦するよりスマホで母校の英雄大谷選手のプレイに歓声を上げていた。

あれから1年、またしても日本中はドジャースに移籍した大谷選手の韓国での米大リーグ開幕戦で大騒ぎである。韓国まで1試合観戦3日間ツアー(49万8千円)が申し込み倍率200倍だったという。まあ何と凄い人気なんだろう。報道も過熱で、政治の裏金問題なよりもトップニュース扱いの報道番組も数多くあった。SNS上では大谷選手ばかりを見せるメディア報道を「大谷ハラメント」と批判する声も上がっているようである。

そんな中で、バスケットボール命の私としてはこの騒ぎを多少許せる面もあった。今までベールに隠されていた大谷選手の結婚相手がバスケットボール選手だったからである。当初誰だかわからなくて、身長が大きくてバスケット名門高校、大学、実業団出身者で、キャリアも凄いということだったので、高田選手、長岡選手、渡嘉敷選手などを思い浮かべたが、どうしても腑に落ちなかった。それが今回の韓国での開幕戦において大谷選手と同伴する奥様の映像を見て納得した。以前、富士通の試合で見たことがあり、大谷選手似のぽっちゃり系でまさにお似合いのカップルである。男は歴史を作り。女をその男を作る。

それにしても疑問に思うのは、二人はいつ、どこで、どのようにして出会ったのだろうか。今や世界トップレベルのアスリートを射止めた女性が元バスケット選手、しかも日本代表候補のキャリアを持っていたということは、これから五輪を控える日本バスケットも大谷効果で注目を集めることであろう。余談であるが、190cmの大谷選手、180cmの奥様、二人の子どもは身長がどれくらいになるのだろうか、野球をやるのか、バスケットボールをやるのだろうか。

大谷夫妻フィーバー時に、朝日新聞の片隅には7月に開催されるパリ五輪のバスケットボール組み合わせが申し訳なさそうに掲載されていた。男子はドイツ、フランスのブロックに入った。女子は米国、ベルギー、ドイツのブロックである。どちらも厳しい組み合わせであるが、大谷選手が「リスペクトするのは止めよう！」が功を奏したのか、男子のホーバスHCは8強入りを目指し掲げ、女子の恩塚HCは「米国に勝ちに行く！」と語った。

それにしても日本のバスケットは成長したものである。ついちょっと前までは世界の舞台に上がるのが関の山だったのが、今や世界のトップレベルと互角に戦えるまでになってきた。会津のバスケットはいつになったら同じような舞台に立てるのか。お彼岸で高田の母の実家に線香上げに行った時、畑にあったクマの足跡を見ながらつくづく考えた。